

令和5年度 特別の教育課程（立川市民科）の実施状況等について

1. 学校名 立川市立第十小学校

2. 令和5年度 学校における自己評価（箇条書きでご記入ください。）

立川市民科の取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方や保護者をゲストティーチャーとして招くなどし、地域の方々との交流や地元企業との連携により、身近な人々とのつながりが深まるとともに身近な産業に興味・関心をもつことができた。 ・社会や総合的な学習の時間では学べない立川市の歴史や地域の先人の功績について学ぶ好機となった。 ・実際に校区を歩き、見て、感じて、ポスターや新聞、スライドにまとめることができた。
立川市民科の取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・担任教員には、カリキュラムの見直しと組み立て、外部人材発掘や打合せをする時間の確保が難しい。 ・活動内容に重複するところが出てこないように、教員内の情報共有の必要性がある。

3. 令和5年度 学校評価に係る共通項目のうち

①対象：児童・生徒

項目：⑫立川市民科では、自分で立てた課題について、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができた。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
27%	41%	17%	14%	2%

②対象：保護者

項目：⑪立川市民科では、探究的な学びの実現に向けて組織的に取り組んでいる。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
31%	40%	2%	0%	27%